

事業者向け 児童発達支援事業自己評価表

2023年2月作成

| | チェック項目 | 改善目標、工夫している点など |
|---------|---|---|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 施設内は広いので、活動室だけでなく別階の部屋も活用して支援を行っている。 |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | 変わらず少人数での配置である。 引き続き採用を行っている。 |
| | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 段差の解消やエレベーターの設置などを行っている。 |
| 業務改善 | ④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 毎日ミーティングを行い、支援についての共有や関わり方の方針を話し合ったりしている。 |
| | ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 職員・パートさんに共有し、問題解決に向けて実施する。 |
| | ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 法人のホームページにて公表している。 かつ、事業所の会報にも結果と今後の予定を公開する予定。 |
| | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 外部調査は行っていない。 |
| | ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 不定期だが開催はしている。 |
| 適切 | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか | 実施している。 |
| | ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 法人で規定の書式があるため、それを使用している。 |
| | ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 企画担当者が立案し、スタッフで検討して利用者に向けたものを実践している。 |
| | ⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 季節に応じたイベントや工作などの活動をしている。 |

| | | | |
|--|---|--|--|
| な 支 援 の 提 供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 本人の成長発達や状況を踏まえつつ、滞在する時間の長さによっても活動を工夫している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか | 作成している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 実施している。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 実施している。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 参加できていない人への共有やパート職員も閲覧できるように提示している。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 実施している。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 午前・午後での活動を変える等工夫している。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 利用者に詳しいものが参加出来るように準備を行っている。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 適宜行っている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 主治医やかかりつけ医の把握は行っている。指示書などの書面でのやり取りではあるが、連携を行っている。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 相談支援事業所を通じてや、保護者とのやり取りの中で情報を得る事が多い。直接の情報共有は不十分である。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 放課後等デイサービスを立ち上げて2年目なので、まだ移行への情報提供を実施していない。今後その状況があれば、情報の提供を行う。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 研修に参加をしている。 |

| | | | |
|--|----|---|--|
| や 保 護 者 と の 連 携 | ②⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 実施できていない。 |
| | ②⑦ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | 参加できていない |
| | ②⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 母子分離のため、朝夕の引き継ぎの際に共有しているが、それだけでは足りない部分もあると感じている。 |
| | ②⑨ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 必要に応じて行うことはあるが機会が少ない。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 年度の面談の際に、書面を通して説明を行っている。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 実施している。と思っているがまだまだ足りないのではと感じている。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 実施できていないので、今年度はニーズ調査を行い来年度の開催に向けて準備をすることにした。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 対応している。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 発信している。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | 配慮している。 |
| | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 子どもであっても一人の人間として尊重している。保護者の立場や気持ちを考えているが、支援者によってばらつきがある。 |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 事業計画として入っているが、実現できるまでに足りない事も多くまだ実施できていない。 |
| | ③⑱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 作成しており、職員・パートさんには共有しているが、保護者への周知が足りていない所がある。 |

| | | | |
|---------|----|---|--|
| 非常時等の対応 | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 定期的な避難訓練の計画・実施を行っている。パート、スタッフとも共有している。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 研修に参加をしている。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか | 特に記載なし。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 対応している。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 作成している。 |